

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	須坂市民防災力向上事業
事業主体 (連絡先)	須坂市 (須坂市総務部総務課危機管理係 電話 026-248-9000)
事業区分	(4) 安心安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,098,826 円 (うち支援金 : 879,000 円)

事業内容

各自治会(自主防災組織)で行っている地域防災マップ作製の礎となるハザードマップを作製することで、地域住民が自分達の住む地域の危険個所を知ることができ、地域防災マップの見直しについての勉強会を行い、地域防災マップの見直し更新を行った。

防災講演会を聴講し、地域防災力の向上を図った。

- ① 地域防災マップ作製勉強会 160名参加
- ② 洪水土砂災害ハザードマップ印刷 5,000枚印刷
区公会堂、市の施設等160か所、市転入者に配付
- ③ 地域防災マップの作製 2,925枚印刷
- ④ 防災講演会 平成27年10月3日 150名聴講



【防災講演会】

【目標・ねらい】

- ① 地域防災マップ勉強会で地域差を解像
- ② ハザードマップで危険個所を知る
- ③ 地域防災マップ作製で災害時に有益なことも把握できる
- ④ 防災講演会で日頃の取り組みの大切さを知る

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 地域防災マップ勉強会でマップに盛り込む内容周知できたことで地域差が小さくなった。
- ② ハザードマップを地区の公会堂や公民館掲示できたことで日頃から住民が目にする機会が増え危険個所を知り、災害に備えることができた。
- ③ 地域防災マップ作製で、地区の避難場所、役立つもの、危険場所等の可視化ができた。
- ④ 防災講演会の講師は、講演前に須坂市内を視察し講演に盛り込んでいただき、聴講者からは身近に感じた、地域で防災に取り組みたいとの声が寄せられた。

※自己評価【B】

【理由】

地域防災について前向きな発言をする市民が増えたことで、防災力(意識)の向上が図られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域防災マップは、マップを完成させることが目的ではなく、地域住民共同で行うことで地域の繋がりができ、如いてはこれを基に訓練を行い、マップを毎年見直し更新を行うとともに訓練が継続できるように指導・助言をし、減災につながるよう取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある